

市民協働かわら版

No.61



七月二十三日（火）令和元年度第四回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、六名（市民四名、職員二名）の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

七月になり蒸し暑い日が続きます。埋蔵文化財センター前の海会寺跡広場ではせわしない蝉しぐれ、ロビーのテーブルでは小学生が夏休みの自由研究、和泉山脈の向こうには大きな入道雲、夏ですね。今回のサロン出席者は六名、楽しかった少年時代の夏休みも遠い昔のメンバーで、街づくりのお話が始まりました。

◎街づくりについて

サロンでは、名前の通り「街づくり」について毎回話し合っています。「街づくり」ってなんでしょう。道路の整備とか都市計画とかハードの部分を考えがちですが、街に暮らす人々の街に対する意識、郷土を感じる暮らし方を意識することが大切なのではないでしょうか。最初に人ありきの街づくりです。サロンでは、そんなことを意識しながら、街づくりに関する話が弾んでいます。人との繋がりが街づくりのポイントです。

◎思いやりの街「泉南市」

認知症ケアに関わるお仕事をしているサロンメンバーから「RUN伴」のお話がありました。「RUN伴」とは、認知症の方本人や家族、ボランティアが、北海道から沖縄まで襪（たすき）をリリーするイベントです。認知症は他人事ではありません。認知症になっても安心して暮らせる街づくりが目標です。ときは、十月二十七日（日）午前十一時～午後二時、ホールは泉南市役所です。吹奏楽など催しもあります。人が繋がることで、安心が生まれます。

◎「文楽入門」お待ちしております！

九月二十四日（火）午後一時三十分スタートで午後三時三十分まで、「文楽入門」と題して文楽に触れてみます。こちらは、泉南市埋蔵文化財センター、浄瑠璃人形にも触れることができます！

◎次いつてみよう！

手ごたえのあった「街道物語」みたいな感じで、次、また楽しいことがしたいとの意見ができました。泉南市の昔話で何かできないか、物語りにしたり、紙芝居にしたりして。やるとなれば、まずは泉南市の昔話の収集です。思った以上に泉南市の昔話はあるようです。サロンのみんなで、調べたお話をつくるのも楽しいのでは。ものになるかわかりませんが、みんなで考えたいと思います。次回のサロンは、八月二十七日（火）十時から、泉南市埋蔵文化財センターで開催です！

【信長街道の（い）】

七月十一日（木）「泉南

街道物語【信長街道編】」が開催されました。信長街道は、織田信長による紀州



征伐の折に整備された道と言われ、ルートは諸説あります。泉南市信達市場あたりに陣が敷かれたようです。紀州征伐には織田氏配下の名だたる戦国大名が参加しています。「信長公記」によりますと、泉南地域に影響力が大きかった根来寺は信長に加勢しました。信長、秀吉、光秀等、教科書に載っている武将が泉南市に来て軍議を開き、地元の住民が紀州へ向かう道案内を買って出たのかもしれない。信長も信達の高台から大阪湾を望み「天下布武」への想いを馳せたのかもしれない。歴史の表舞台には出てこない庶民として、大きな時代の荒波に揉まれながら、力強く生き抜いた私たちの先祖がそこにいたことは確かなようです。

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一ー一

TEL：〇七二一四八三〇〇〇四

（令和元年八月十四日発行）